

## 応募要領

◆助成の対象

<1>情報科学に関する研究

<2>情報科学に関する

フォーラム・シンポジウム等開催

◆申請書受付期間

平成21年6月1日(月)～8月31日(月)

# 2009

本財団は、情報に関する、自然科学、人文・社会科学分野の、基礎的・萌芽的または総合的な研究に対する援助・支援を行い、情報科学の振興を図り、もって学術の発展に寄与することを目的とします。



財団の設立……平成8年3月25日

所 管……文部科学省

財団法人 栢森情報科学振興財団

Kayamori Foundation

of Informational Science Advancement

私たちの生活を取り巻く情報環境は、ハード、ソフト両面で大きく変革を遂げてきております。昔は想像の世界でしかなかったいろいろな事柄が、IT関連技術の発展で現実のものとなる時代です。情報に囲まれて日々生活している私たちが、良好な生活環境を維持していくためには、自然科学分野のみならず、人文・社会科学分野を含めた、情報科学に関する幅広い分野での研究の推進を図っていくことが必要であると確信しております。

このような趣旨のもとに、平成8年3月25日、文部省（現文部科学省）所管としては初めての情報科学に関する研究の助成を目的とする財団、栢森情報科学振興財団が発足いたしました。

以来、当財団も14年目に入り、研究助成で297件、フォーラム・シンポジウム等開催助成では65件、特別研究助成では2件、総額29,310万円の助成金を交付してまいりました。平成21年度は、研究助成に2,000万円、フォーラム・シンポジウム等開催助成に100万円を含め、今年度の事業費の予算総額は3,503万円となっております。

当財団は、平成12年3月6日、情報科学振興などの公益に著しく寄与する財団であると、特定公益増進法人に認定され、2年ごとの更新手続きにおいても、再認定を受けております。

今後とも情報科学の発展に寄与できますよう、財団の事業をすすめてまいる所存でございます。

助成への応募の資格を特に限定しないこと、貴重な時間を少しでも研究に向けていただくために煩雑な手数を省くことなどの目的で、できるだけ規制を設けず、門戸を開放しております。

皆さまには、こうした当財団の趣旨をおくみ取りいただき、学術、ひいては社会の発展のためにお役立てくだされば幸いです。

今年度も、ご応募を心からお待ちしております。

### (財) 栢森情報科学振興財団 選考委員

(50音順・敬称略)

- \* 栢垣康善：豊橋技術科学大学理事・副学長、名古屋大学名誉教授
- \* 志村正道：東京工業大学・武蔵工業大学名誉教授
- \* 辻井潤一：東京大学大学院情報理工学系研究科教授
- \* 辻 三郎：大阪大学・和歌山大学名誉教授
- \* 榎村晃夫：名古屋大学・中京大学名誉教授

### (財) 栢森情報科学振興財団 役員等

(50音順・敬称略)

#### 理事長

- \* 栢森新治：ダイコク電機(株)相談役

#### 常務理事

- \* 栢森雅勝：ダイコク電機(株)代表取締役社長

#### 理事

- \* 井上宗迪：デジタルハリウッド大学客員教授
- \* 大須賀節雄：東京大学名誉教授
- \* 大槻説乎：広島市立大学名誉教授
- \* 小川英次：中京大学学術顧問、名古屋大学名誉教授
- \* 栢森秀行：ダイコク電機(株)代表取締役副社長
- \* 田中 一：北海道大学名誉教授
- \* 丸勢 進：独立行政法人科学技術振興機構イノベーションプラザ  
東海総館長、名古屋大学・名城大学名誉教授

#### 監事

- \* 敷田 稔：弁護士、国際検察官協会副会長
- \* 田島和憲：公認会計士、あずさ監査法人名古屋事務所所長

#### 評議員

- \* 岩根節雄：ダイコク電機(株)常務取締役
- \* 岡田直之：九州工業大学名誉教授
- \* 栢森 健：ダイコク電機(株)代表取締役専務
- \* 木村憲次：(株)ビジネスデザイン研究所 代表取締役社長
- \* 嶋本久寿弥太：弁理士、嶋本国際特許事務所所長
- \* 田中 譲：北海道大学大学院情報科学研究科教授・  
同大学ベンチャービジネスラボラトリー長
- \* 田村浩一郎：中京大学情報理工学部教授
- \* 野崎悠子：YUPLOT造形研究室主宰、愛知県立芸術大学名誉教授
- \* 福田敏男：名古屋大学大学院工学研究科  
マイクロ・ナノシステム工学専攻教授
- \* 山下 陽：ダイコク電機(株)取締役

## 〈1〉研究助成

### ◆応募の資格

助成の対象となる研究を、計画に従って遂行する能力のある方(研究グループを含む)。

### ◆テーマ・内容

◎情報科学に関する調査、研究および開発で、学術的發展に寄与するものであること。

◎研究の計画および方法が、当該研究の目的を達成するために適切であり、かつ十分な成果が期待できるものであること。

### ◆助成金の額

1件あたり最高200万円までを原則とし、選考結果に基づき助成額を決定します。

### ◆交付決定

平成21年11月中旬の予定。全員に書面でお知らせします。

### ◆対象となる経費

機械器具装置の購入費および賃借料、旅費、消耗品費、謝金等。

### ◆研究完了日

助成金の交付決定後2年以内。

### ◆研究成果の帰属

助成研究によって取得された知的財産権は、研究実施者に帰属することとします。ただし、助成研究成果を特許、実用新案または意匠登録として出願し、その後、特許権、実用新案権または意匠権を取得したときは、速やかにその旨を当財団に届け出てください。また、当財団では、「特許庁長官指定学術団体」として指定されていますので、当財団が主催または共催する研究集会で文書でもって発表した場合、発表後6ヶ月以内に特許、実用新案の出願をしたときは、その発明または考案は新規性の喪失の例外とされています。その場合、当財団の証明書が必要となりますのでお申し出ください。

### ◆その他、留意していただく事項

①研究の成功・不成功にかかわらず助成金の返還は求めませんが、当該研究が実施されなかったり、研究実施者が当財団の規定等に違反した場合には、助成金の1部または全部を返還していただくことがあります。

②助成研究完了の日から起算して30日以内に、完了報告書の提出をお願いします。

③研究の成果を当財団の機関紙等に掲載したり、講演会等で発表していただくことがあります。

④助成研究の成果を学会等で発表したり論文にまとめたりする場合は、当財団の助成を受けて遂行されたことを明示してください。

⑤応募者の機会均等化を期するため、採択された方は、原則としてその年度以後3年間は、選考の対象とされません。

## 平成20年度 研究助成金交付者とテーマ

申請受付順、所属は申請書提出時のもの(敬称略)

### ◆土居 伸二

大阪大学 大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻 准教授

「カオス力学に立脚した少数ニューロンによる確率的計算方式に関する研究 60」

### ◆中村 正樹

金沢大学 理工学域 電子情報学類 助教

「等式推論を中心とした統合ソフトウェア検証システムの構築 90」

### ◆山脇 彰

九州工業大学 工学研究院 電気電子工学研究系 助教

「多種多様なメモリデータに対応したハードウェア設計支援ツールの開発 80」

### ◆安村 禎明

神戸大学 大学院 工学研究科 情報知能学専攻 准教授

「アンサンブルアプローチによるデータストリームを対象とした半教師付学習 100」

### ◆平賀 瑠美

筑波技術大学 産業技術学部 産業情報学科 教授

「メディアの組み合わせによる意図強調の仕組みについての研究 80」

### ◆柳井 啓司

電気通信大学 電気通信学部 情報工学科 准教授

「時空間情報を利用した実世界画像認識の試み 90」

### ◆岩野 公司

東京工業大学 大学院 情報理工学研究科 計算工学専攻 助教

「ウェアラブルコンピュータ環境における高精度話者照合に関する研究 90」

### ◆増原 英彦

東京大学 大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 准教授

「静的解析と動的検査を組み合わせたアスペクト指向プログラミング言語 90」

### ◆河田 佳樹

徳島大学 大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 准教授

「CT・PET画像を用いた肺がん鑑別用コンピュータ支援診断技術の開発 100」

### ◆小林 良太郎

豊橋技術科学大学 工学部 情報工学系 講師

「自律的にプロセッサ構成を変更するメニーコア・プロセッサに関する研究 100」

### ◆酒井 浩之

豊橋技術科学大学 工学部 知識情報工学系 助教

「次世代高度テキストマイニングを目指した表現抽出の汎用的手法の開発 90」

### ◆松井 俊浩

名古屋工業大学 情報工学教育類 助教

「非同期分散協調アルゴリズムのための実際的なプログラミング言語に関する研究 50」

- ◆佐藤 理史  
名古屋大学 大学院 工学研究科 電子情報システム専攻 教授  
「ウェブを利用した対訳辞書の自動編纂 100」
- ◆天野 敏之  
奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教  
「プロジェクタ・カメラフィードバック系による物体の見えるの強調 50」
- ◆過 敏憲  
会津大学 コンピュータ理工学部 コンピュータ工学部門 教授  
「マルチコア・マルチユニット組み込みシステム向けの省電力ソフトウェア最適化 100」
- ◆梅尾 博司  
大阪電気通信大学 大学院 工学研究科 情報工学専攻 情報通信工学部 情報工学科 教授  
「世界で最小の同期プロトコルの開発とその応用 70」
- ◆朝倉 宏一  
大同工業大学 情報学部 情報システム学科 准教授  
「アドホック・ネットワークを用いた災害時の要救助者位置情報収集システムの開発 90」
- ◆遠藤 守  
中京大学 情報理工学部 情報メディア工学科 准教授  
「3次元仮想博物館構築のための芸術作品と家系図関連の収集と提示手法に関する研究 100」
- ◆前田 和昭  
中部大学 経営情報学部 経営情報学科 准教授  
「構造表現のためのDSL開発とWebアプリケーションへの応用 70」
- ◆越前谷 博  
北海学園大学 工学部 電子情報工学科 助教  
「フレーズに基づく翻訳自動評価に関する研究 70」
- ◆菅原 俊治  
早稲田大学 理工学術院 基幹理工学研究科 情報理工学専攻 教授  
「大規模システムにおける交渉プロトコルの局所性に関する研究 100」
- ◆石橋 孝昭  
熊本電波工業高等専門学校 情報通信工学科 助教  
「音環境の変動に頑健な音声認識システムの開発 90」
- ◆田邊 喜一  
松江工業高等専門学校 情報工学科 教授  
「瞬目波形に基づくユーザの意図を忠実に反映する入力インタフェースに関する研究 90」
- ◆鯉淵 道紘  
国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 助教  
「シングルチップ計算機プラットフォームのための超省電力チップ内ネットワークに関する研究 50」

以上、24件・助成総額 2,000万円

応募の手続きは裏面にあります。

## 〈2〉フォーラム・シンポジウム等開催助成

- ◆応募の条件  
情報科学に関する学術的発展に寄与するフォーラム・シンポジウム等で、平成21年7月1日から平成23年3月末日までに開催されること。
- ◆助成金の額  
年度内助成総額100万円までを原則とし、選考結果に基づき、助成額を決定します。
- ◆交付決定  
平成21年10月末の予定(交付は開催確定後)。
- ◆対象となる経費  
謝金、旅費、会場費、人件費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等。
- ◆その他、留意していただく事項  
①終了後3カ月以内に報告書を提出してください。  
②フォーラム・シンポジウム等開催の資料は、申請時に添付のほか、印刷物を発行する場合は送付してください。  
③応募者の機会均等化を期するため、採択された団体等は、原則としてその年度以後3年間は、選考の対象とされません。

### 平成20年度

#### フォーラム・シンポジウム等開催助成金交付者とテーマ (敬称略)

- ◆「2008 第12回「言語理論の展開」国際会議」  
開発責任者：伊藤 正美  
(京都産業大学 理学部 教授)
- ◆「2008 ASIACRYPT2009」  
開発責任者：岡本 栄司  
(筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 教授)
- ◆「2008 2008年IEEE/SICEシステムインテグレーションに関する国際シンポジウム」  
開発責任者：福田 敏男  
(名古屋大学 大学院 工学研究科 教授)
- ◆「2008 アジア音声資源国際シンポジウム」  
開発責任者：板橋 秀一  
(国立情報学研究所 研究系 特任教授)
- ◆「2008 第7回パーベイシブコンピューティング国際会議 (Pervasive 2009)」  
開発責任者：徳田 英幸  
(慶應義塾大学 環境情報学部 学部長・教授)
- ◆「2008 環太平洋マルチエージェントに関する国際会議 (PRIMA 2009)」  
開発責任者：伊藤 孝行  
(名古屋工業大学 大学院 工学研究科 准教授)

以上、6件・助成総額 200万円

## 応募の手続き

☆財団所定の書式(当財団ホームページに掲載)を用い、必要事項を記入して、財団事務局(下記)あて郵送またはメールで提出してください。

☆申請書の受付期間は平成21年6月1日から同年8月31日(必着)

(財) 栢森情報科学振興財団

◇文部科学省認定、特定公益増進法人

◇基本財産：24億5,745万円

◇助成実績

(単位：万円)

年度	研究		フォーラム・シンポジウム等		特別研究	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成8年	11	2,190	3	150	—	—
平成9年	23	2,020	2	100	—	—
平成10年	22	2,010	4	200	—	—
平成11年	24	2,000	1	100	—	—
平成12年	23	2,000	5	130	—	—
平成13年	24	2,000	5	130	—	—
平成14年	24	2,000	6	150	—	—
平成15年	24	2,000	6	150	—	—
平成16年	24	2,000	6	150	—	—
平成17年	24	2,000	8	300	2	1,000
平成18年	24	2,000	8	180	—	—
平成19年	26	2,000	5	150	—	—
平成20年	24	2,000	6	200	—	—

個人情報について

「当財団は、研究者の個人情報を以下の目的で利用し、法で定める場合を除き当財団の利用目的の範囲を超えて利用いたしません。」

利用目的及び範囲

1. 研究成果の発表

機関紙(K通信)、記念誌及びホームページ等に掲載並びに財団主催の講演会等での発表。

(氏名・学校名・研究機関名・所属・役職名・研究テーマ及びその内容)

2. 研究助成及びフォーラム・シンポジウム等助成応募要領の発送。

講演会、フォーラム及びシンポジウム等の開催通知発送、機関紙等の発送。  
(住所・氏名・学校名・研究機関名・所属・役職名)

(財) 栢森情報科学振興財団 事務局

事務局長：柳井信忠

〒450-0001

名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

名古屋国際センタービル2階 ダイコク電機(株)内

TEL.052-581-1660 FAX.052-581-1667

URL <http://www.kayamorif.or.jp>

E-mail [info@kayamorif.or.jp](mailto:info@kayamorif.or.jp)